

道 徳

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称			教科書名
2	東	書	新訂 新しい道徳
11	学	図	かがやけみらい 小学校道徳 きづき かがやけみらい 小学校道徳 まなび
17	教	出	小学道徳 はばたこう明日へ
38	光	村	道徳 きみが いちばん ひかるとき
116	日	文	小学道徳 生きる力 小学道徳 生きる力 道徳ノート
208	光	文	小学道徳 ゆたかな心
224	学	研	新・みんなの道徳
232	廣	あ かつ き	みんなで考え、話し合う 小学生の道徳 自分を見つめ、考える 道徳ノート

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 道徳科の学び方等の示し方	オリエンテーションのタイトル、示し方、記載例
		② 発問の工夫	記載箇所、数、記載例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③ 問題解決的な学習を取り入れた工夫	問題解決的な学習の扱い、教材名・内容項目・問題意識のたせ方、発問の具体例
		④ 体験的な学習を取り入れた工夫	体験的な学習の扱い、教材名等・内容項目・体験的な活動の概要、体験的な活動を促す具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑤ 分量や教材の数	判型、ページ数、四つの視点ごとの教材数
		⑥ 現代的な課題等を踏まえた内容の示し方	いじめ問題の扱いと教材等の例
(エ)	内容の表現・表記	⑦ 巻頭、巻末等の取扱いの工夫	巻頭、巻末等の示し方
		⑧ 教材の内容を理解させる工夫	マーク・キャラクター等の示し方と活用の具体例
(オ)	言語活動の充実	⑨ 考えを伝え合う活動の工夫	話し合いを促す示し方と具体例
		⑩ 考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方、まとめや振り返りの数等と具体例

【道徳】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①道徳科の学び方等の示し方
方法	オリエンテーションのタイトル, 示し方, 記載例

		第4学年			
		タイトル	示し方	記載例	
東 書	○ 「これから一年間で学ぶこと」	○ 「道徳の学習を進めるために」	○ 「道徳の時間が始まるよ！」	○ 「ちょっとみんなで話し合ってみよう」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分自身のこと」 <ul style="list-style-type: none"> ・正しいと思うことは自信を持って ・正直に明るい心で ○ 「さあ、四年生の道徳の学習を始めよう。道徳は、心について考え、自分の心をゆたかにしていく時間だよ。思ったことをすなおに話そう」 ○ 「いろいろな学習のしかたがあるね。なにをしているのかな。」 ○ 「そういう考えもあるんだ！」 ○ 「自分だったらと考えると、どうかな。」
	○ 「道徳の学習を始めよう」	○ 「学級づくり」	○ 「教科書『まなび』の使い方」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「どんな気持ちでいるのか、登場人物の様子を考えましょう。」 ○ 「こまったことをかいつするには、どうしたらいいでしょう。友達と考えを出し合ってみましょう。」 ○ 「いよいよ四年生。これまでいっしょに学習してきたお友達も、この春からはじめましてのお友達も、みんなクラスの仲間です。」 ○ 「考えるための？がたくさんあるよ。」 ○ 「自分の考えをかいたり、いいなと思った考えをメモしたりして、学習を深めていこう。」 	
学 図	○ 「道徳の学習を始めよう」	○ 「学級づくり」	○ 「教科書『まなび』の使い方」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページに、四つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目と教材名を示している。 ○ 見開き2ページに、道徳の学習の流れを「1気づく」「2考える話し合う」「3ふり返る見つめる」「4生かす」の四つで示している。また、左ページ下には、「話し合いのやくそく」を示している。 ○ 見開き2ページに、道徳での六つの学習活動をイラストで示している。 ○ 折り込みに、ショートストーリーを基に、話し合う視点を示すとともに、自分の考えを書く欄を2か所設けている。 ○ 見開き2ページに、道徳の学習活動のイラストや吹き出しを使い、考える視点等を示している。 ○ 見開き2ページに、意見を言う環境づくりの活動を示している。 ○ 別冊「まなび」の見開き2ページの右ページには、別冊「まなび」の使い方を示している。 ○ 別冊「まなび」の見開き2ページの左ページには、「きづく」「かんがえよう」「みつめよう」の三つの学習活動をイラストとともに示している。 	

【道徳】

<p>教 出</p>	<p>○ 「四年生の道徳の学習が始まるよ」</p> <p>○ 「道徳ではこんな学習をするよ。」</p>	<p>○ 見開き2ページの右ページには、道徳の学習では、どのような学び方をするかを示している。</p> <p>○ 左ページには、キャラクターの吹き出しの中に道徳の学び方を示すとともに、一番大切なものを書く欄を設けている。</p> <p>○ 見開き2ページに、キャラクターやイラストを使い、道徳の学習の流れを「気づく」「考える」「深める」「つなげる」の四つで示し、「話し合って考えよう」「役になって考えよう」の二つの学習活動を示している。</p>	<p>○ 「道徳では、みなさんがすすんで道徳的な行いができるように、気持ちや思いを発表し、友達の考えを聞いたり、質問したりしながら、話し合いをします。その話し合いをとおして、生きるうえで大切なことや道徳的な行いについての学びを深め、自分自身の心をみがきます。」</p> <p>○ 「これから一年間、よりよい自分を目ざしていっしょに勉強しよう！」</p> <p>○ 「授業で考えたいことを自分の中にもとう。」</p>
<p>光 村</p>	<p>○ 「『道徳の時間』は、今よりもっとよい生き方ができるよう、考えていく時間です。」</p> <p>○ 「『道徳の時間』に、みんなで考えていこう。」</p>	<p>○ 見開き2ページに、「話し合って考えよう」「えんじて考えよう」「読んで考えよう」「書いて考えよう」という四つの学習活動をイラストや吹き出しを使い、考える視点等を示している。</p> <p>○ 見開き2ページに、四つの視点と1年間に学ぶ内容項目と教材名を示している。</p>	<p>○ 「さまざまな考え方があることを、大切にしていこう。」</p> <p>○ 「考えたことは、毎日の生活の中で生かしていこう。」</p>
<p>日 文</p>	<p>○ 「道徳のとびら」</p> <p>○ 「道徳の学び方」</p> <p>○ 「道徳ノートを使い方」</p>	<p>○ 見開き2ページに、四つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目を示している。また、キャラクターの吹き出しの中に、道徳科の意義について示している。</p> <p>○ 見開き2ページに、イラストや写真を使い、道徳の学び方を「1 気づく」「2 考える・深める」「3 見つめる・生かす」の三つで示している。</p> <p>○ 「話し合ってみよう」「動いてみよう」「書いてみよう」の三つの学習活動を写真とともに示している。</p> <p>○ 別冊「道徳ノート」の「もくじ」の下段に、道徳ノートの使い方を示している。</p>	<p>○ 「『道徳』では、よりよく生きるためにたいせつなことについて、みんなで考えるよ。」</p> <p>○ 「みんなで考えたことを生かして、もっとすてきな自分になるうね。」</p> <p>○ 「よりよく生きるためにたいせつなことについて、どのように考えればいいのか。」</p> <p>○ 「そういう考え方もあるんだね。」</p>
<p>光 文</p>	<p>○ 「さあ、どうとくの学習が始まります」</p> <p>○ 「どうとくの時間は、こんな時間です」</p> <p>○ 「いろいろな場面です」</p> <p>○ 「この本の使い方」</p>	<p>○ 見開き2ページに、四つの視点ごとに、道徳の学習で学ぶ内容を示している。</p> <p>○ 見開き2ページに、イラストを使い、道徳の学び方を「問いをもつ」「考える」「まとめる」の三つで示している。</p> <p>○ 見開き2ページに、イラストや吹き出しを使い、道徳で学習したことが生活に生かされる流れを示している。</p> <p>○ 見開き2ページに、教科書の使い方や道徳ノートの例を示している。</p>	<p>○ 「四年生のどうとくでは、次のようなことについて考えます。どうとくの学習を通して、どんな自分になりたいか、考えてみましょう。」</p> <p>○ 「どうとくの時間では、クラスみんなで考え、話し合う中で、考えを広げたり、深めたりしていくことが大切です。」</p> <p>○ 「どうとくの時間だけではなく、生活の中でも、問いについて考えたり、考えたことを実行してみたりしましょう。そこで、どんなことに気づくでしょうか。」</p>

【道徳】

<p style="text-align: center;">学 研</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳の学習が始まるよ」 ○ 「大きな心を育てよう」 ○ 「これが今のわたし」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページの上段に、「自分」「人」「社会」「命や自然」の四つの視点で考えを深めるポイントを示している。 ○ 見開き2ページの下段に、「自分を見つめ深めるポイント」として「1お話をもとに考えよう。」「2話し合いを高めよう。」「3自分を見つめ深めよう。」の三つの学習活動を示している。 ○ 見開き2ページに、四つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目と教材名を示している。 ○ 見開き2ページに、自分の「好きな食べ物」「好きな遊び」等10項目について書く欄を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳って何する時間？」 ○ 「心の四つのとびらを開いて自分を見つめる時間です。」 ○ 「登場人物になりきって考えてみよう。」 ○ 「みんなの考えをよく聞いて自分の考えをもっとふくらませよう。」 ○ 「友達の間を見て話そう。」 ○ 「しっかりうなずいて聞こう。」 ○ 「書く活動を通して自分を見つめよう。」
<p style="text-align: center;">廣 あ か つ き</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳の時間はこんな時間」 ○ 「今の自分を見つめて」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1ページに、子供の写真2枚とイラストとともに、道徳の時間の意義について示している。 ○ 見開き2ページに、道徳の学習について、六つの学習活動（記載例上段二つ目から六つ）を示している。 ○ 別冊「道徳ノート」に、自分の「一番うれしかったこと」「とく意なこと」「四年生でできるようになりたいこと」等8項目についての書きこみ欄を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳の時間はあなたの心の成長をおうえんする時間です。」 ○ 「自分で感じ、考えて、自分の意見を伝えましょう」 ○ 「他の人の意見をよく聞きましょう」 ○ 「いろいろな答えがあります」 ○ 「みんなで考え、話し合いましょう」 ○ 「自分を見つめ、考えましょう」 ○ 「『道徳ノート』に書きましょう」

【道徳】

視点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②発問の工夫
方法	記載箇所, 数, 記載例

教材名「手品師」 内容項目「A 正直, 誠実」			
	記載箇所	数	記載例
東 書	○ 教材文の終わり	2	主題名「せいじつに明るい心で」(第6学年) ○ 「考えよう①」「考えよう②」のコーナーに, キャラクター「こころん」とともに記載している。 ・たった一人のお客さまの前で, 手品を演じている時の手品師の思いについて書いて, 話し合ってみましょう。 ・あなたは, そうしたほうがよいと思ったことを行動に移せたことはありますか。
	○ 別冊「まなび」の中	3	主題名「誠実であること」(第5学年) ○ 手品師と男の子のイラストや「やってみよう」「かんがえよう」マークとともに記載している。 ・「手品師」になったつもりで「男の子」, 「友人」役の人と話し, 手品師の心の様子を考えましょう。 ・男の子の前で手品を演じている時, 手品師は, どのようなことを思っていたでしょう。 ○ 「みつめよう」マークとともに記載している。 ・「誠実」であることとはどういうことでしょうか。
学 図	○ 冒頭の教材名の下	5	主題名「誠実に明るい心で」(第6学年) ○ キャラクター「とりどり先生」とともに記載している。 ・「誠実な人」, 「誠実な行動」などと言うことがあるよね。「誠実」って, ということかな。
	○ 教材文の終わり		○ 「考えよう」のコーナーに記載している。 ・友人からステージへの出演の電話を受けたとき, 手品師はどのようなことを考えたでしょう。 ・手品師のすばらしいところはどこでしょう。みんなの意見を聞いてみましょう。 ○ 「深めよう」のコーナーに記載している。 ・誠実に生きるとは, どのようなことでしょうか。自分の考えをまとめて発表しましょう。 ○ キャラクター「とりどり先生」とともに記載している。 ・みんながこれから, 誠実に生きていくために必要なことはなんだろう。
教 出	○ 冒頭の教材名の下	5	主題名「誠実に明るい心で」(第6学年) ○ キャラクター「とりどり先生」とともに記載している。 ・「誠実な人」, 「誠実な行動」などと言うことがあるよね。「誠実」って, ということかな。
	○ 教材文の終わり		○ 「考えよう」のコーナーに記載している。 ・友人からステージへの出演の電話を受けたとき, 手品師はどのようなことを考えたでしょう。 ・手品師のすばらしいところはどこでしょう。みんなの意見を聞いてみましょう。 ○ 「深めよう」のコーナーに記載している。 ・誠実に生きるとは, どのようなことでしょうか。自分の考えをまとめて発表しましょう。 ○ キャラクター「とりどり先生」とともに記載している。 ・みんながこれから, 誠実に生きていくために必要なことはなんだろう。

【道徳】

光 村	○ 冒頭の教材名の 下	5	<p>主題名「自分の心に誠実に」（第6学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクター「こころん」とともに記載している。 ・だれかと約束したのに守れなかったことって、ある？
	○ 教材文の終わり		<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考えよう・話し合おう」のコーナーに、『『誠実に生きる』とは、どういうことだろう。』というめあてとともに記載している。 ・友人の「いい話」を聞きながら、手品師は、どんなことを思っていたでしょう。 ・手品師は、どうしてたった一人のお客さまの前で手品をするを選んだのでしょうか。 ・あなたは、「誠実に生きる」とは、どんな生き方のことだと思いますか。 ○ 「つなげよう」のコーナーに、キャラクター「きらりん」とともに記載している。 ・人々から誠実さがなくなると、世の中はどうなるかな。
日 文	○ 冒頭の教材名の 下	8	<p>主題名「誠実に生きる」（第6学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクター「ココロウ」とともに記載している。 ・「手品師」というお話をとおして、「誠実」ということについてみんなで考えましょう。 ○ 「考えてみよう」のコーナーに、キャラクター「はるひと」とともに記載している。 ・どんな思いから、手品師は男の子との約束を選んだのだろう。 ○ 「見つめよう 生かそう」のコーナーに、キャラクター「あかね」とともに記載している。 ・この学習をとおして、「誠実に生きる」ということについて、自分の思いをまとめよう。
	○ 教材文に続く見 開き2ページ		<ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクター「ココロウ」とともに「学習の手引き」に記載している。 ・「誠実に生きる」ことについて、手品師になりきって考えてみよう。 ○ 手品師と男の子のイラストや、児童二人が会話する写真とともに記載している。 ・迷いに迷っている手品師の気持ちについて考えましょう。 ○ 手品師と友人のイラストとともに記載している。 ・どんな思いから手品師は男の子との約束を選んだのでしょうか。 ○ 手品師と男の子のイラストとともに記載している。 ・たった一人のお客さまの前で、手品を演じているときの手品師は、どんな気持ちだったでしょう。 ○ 「見つめよう 生かそう」のマークとともに記載している。 ・この学習をとおして、「誠実に生きる」ということについて、自分の思いをまとめよう。
	○ 別冊「道徳ノート」の中		<ul style="list-style-type: none"> ○ 手品師のイラストとともに記載している。 ・どんな思いから手品師は男の子との約束を選んだのでしょうか。

【道徳】

光 文	○ 冒頭の教材名の横	7	<p>主題名「誠実に生きる」(第5学年)</p> <p>○ イラストとともに記載している。</p> <p>・あなたは、本気でなやんだことがありますか。</p>
	○ 教材文の下段		<p>○ キャラクター「ゆたかさん」の吹き出しに記載している。</p> <p>・男の子に、「きっと来るよ。」と答えたとき、手品師は、どのようなことを考えていたのかな。</p> <p>○ キャラクター「みらいさん」の吹き出しに記載している。</p> <p>・「友人」から電話をもらって、手品師がなやんだのは、どんなことだったのかな。</p> <p>○ キャラクター「わんだ先生」の吹き出しに記載している。</p> <p>・手品師は、なぜ大劇場に出られるチャンスをことわったのかな。</p> <p>○ キャラクター「トリー」の吹き出しに記載している。</p> <p>・手品師は、どのような思いで、男の子の前で手品をしているのでしょうか。</p>
	○ 教材文の終わり		<p>○ 「まとめるマーク」とともに記載している。</p> <p>・手品師の生き方をどう思いますか。また、あなたはどのような生き方がしたいですか。</p> <p>○ 「ひろげるマーク」とともに、記載している。</p> <p>・「誠実に生きる」とは、どういうことだと思いますか。みんなで話し合ってみましょう。</p>
学 研	○ 教材文の終わり	2	<p>主題名「誠実な生き方」(第5学年)</p> <p>○ 「考えよう」のコーナーに記載している。</p> <p>・友人からのさそいの電話がかかってきたとき、手品師は心の中でのんごんごを考えただろう。</p> <p>・自分が手品師だったら、どんなことを大切にするだろう。</p>
廣 あ か つ き	○ 教材文の終わり	5	<p>主題名「大切なもの」(第6学年)</p> <p>○ 「考えよう話し合おう」の「学習の道すじ」のコーナーに、「手品師の迷いと決断を通して、誠実であることのすばらしさについて考える。」というめあてとともに記載している。</p> <p>・手品師は、どのようなことを考えて迷っていたのでしょうか。</p> <p>・手品師はどのように考えて、友人のさそいをきっぱりと断ったのでしょうか。</p> <p>・「ぼくにとっては」という手品師の言葉の意味を、生き方として考えてみましょう。</p> <p>・人に対して誠実に応えることができたとき、どんな気持ちになりますか。</p>
	○ 別冊「道徳ノート」の中		<p>○ タイトル「誠実に明るい心で」の中に記載している。</p> <p>・誠実に生きることは、どうして大切なのでしょうか。</p>

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	③問題解決的な学習を取り入れた工夫
方法	問題解決的な学習の扱い，教材名・内容項目・問題意識のもたせ方，発問の具体例

	問題解決的な学習の扱い	第6学年	
		教材名・内容項目・問題意識のもたせ方	発問の具体例
東 書	<p>○ 問題を見つけて考える教材には，目次及び該当ページに，マークを付けて示し，教材の終わりに，問題を解決するための「考えるステップ」を設けている。</p>	<p>○ 「タマゾン川」</p> <p>○ 「D 自然愛護」</p> <p>○ 「とびらページ」に，川の写真とともに「この川になにがおこっているのだろうか？」と示している。</p> <p>○ 外来種によって生態系が破壊されていることを基に，自然とのふれ合い方について考えさせている。</p>	<p>○ 「考えるステップ」に記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飼えなくなった生き物を多摩川へにがす人の気持ちについて考えましょう。 ・ 「タマゾン川」はどうして生まれるのでしょうか。 ・ 自然や生き物とふれ合ううえで，大切にしたい心とはなんなのでしょうか。 ・ あなたが考える，解決していく必要のある自然環境の問題はなんですか。
学 図	<p>○ 問題解決的な学習に適した教材には，別冊「まなび」の中に，「かんがえよう」のマークを付けて示している。</p>	<p>○ 「羊飼いの指輪」</p> <p>○ 「A 善悪の判断，自律，自由と責任」</p> <p>○ 長老の問いかけをとおして，自分勝手な行動の結果や自由であるために必要なことについて考えさせている。</p>	<p>○ 別冊「まなび」の中に，「かんがえよう」「みつめよう」のマークとともに記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この指輪を持つ人が考えなければいけないことは，どのようなことだと思いますか。 ・ 自分が「自由」であるために，自分自身に必要なことはどのようなことでしょうか。
教 出	<p>○ 問題解決的な学習ができるよう，教材の終わりに，「学びの手引き」を設けている。</p>	<p>○ 「天から送られた手紙」</p> <p>○ 「A 真理の探究」</p> <p>○ 冒頭の教材名の下に「みんなはわからないことに出合ったとき，どうしているかな。」と示している。</p> <p>○ 雪の研究の第一人者である中谷宇吉郎の生き方とおして，真理を追い求めることについて考えさせている。</p>	<p>○ 「学びの手引き」の中に記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何度も失敗をくり返しながらも，上空と同じように水蒸気の温度や量を調整できる実験装置を作り上げることができたのは，宇吉郎にどのような考えがあったからでしょう。 ・ 遠い遠い空のかなたからまい降りてくる雪を見ながら，宇吉郎はどのようなことを考えていたでしょう。 ・ 「まだよくわかっていないこと」を探究するために大切なのは，どのような考え方でしょう。

【道徳】

<p>光 村</p>	<p>○ 問題解決的な学習ができるよう、教材の終わりに、「考えよう・話し合おう」のコーナーを設け、学習のめあて等を示している。</p>	<p>○ 「六年生の責任って？」 ○ 「C よりよい学校生活、集団生活の充実」 ○ 冒頭の教材名の横に「六年生として、君が、下級生や先生からたよりにされていると思うのは、どんなときかな。」と示している。 ○ よりよい学校にしていくなために、最高学年として何ができるかを話し合う場面をもとに、社会の発展のために寄与する大切さについて考えさせている。</p>	<p>○ 「考えよう・話し合おう」のコーナーに、「よりよい学校にしていくなために、六年生として、どんなことができるだろう。」というめあてとともに記載している。 ・「ぼく」の意見を受けて、六年生が見回って片づけをしたら、学校はどうなるでしょう。また、横山さんの意見を受けて、六年生も美化委員会も片づけをしなかったら、学校はどうなるでしょう。 ・あなたのクラスで、この話し合いの続きをしてみましょう。 ・六年生の責任とは、どのようなものだと思いますか。</p>
<p>日 文</p>	<p>○ 問題解決的な学習ができる教材には、目次及び該当ページに、マークを付けて示し、教材の終わりに、「学習の手引き」を設け、学習展開例を示している。</p>	<p>○ 「ほんとうのことだけど……」 ○ 「A 善悪の判断、自律、自由と責任」 ○ 冒頭の教材名の横に『『自由』と聞いて、どんなことを想像しますか。』と示している。 ○ 校内行事を知らせるかべ新聞に掲載する記事の内容を基に、やってよいことと、よくないことについて考えさせることをとおして、自由と責任について考えさせている。</p>	<p>○ 「学習の手引き」の中に、『『自由と責任』について、考えてみよう。』というめあてとともに、「1問題をつかもう。」「2自分なりに考えよう。」「3問題について話し合おう。」「4問題を解決するときにはたいせつな考え方について話し合おう。」の順に記載している。 ・みえ子は、なつみのどのような考え方に問題があると思っているのでしょうか。 ・すっきりしない気持ちでいたみえ子が、去年の記事を読んで、「もう一度考えてみようよ。」となつみに言ったのは、どのような考えからでしょうか。</p>
<p>光 文</p>	<p>○ 問題の解決に取り組むことができるよう、冒頭の教材名の横や教材文の下段に、問いを示している。</p>	<p>○ 「マナーからルールへ、そしてマナーへ」 ○ 「C 規則の尊重」 ○ 冒頭の教材名の横に『『マナー』と『ルール』は、どちらがうのでしょうか。『たばこのポイ捨て』の例から考えてみましょう。』と示している。 ○ たばこのポイ捨てを減らす取組をもとに、ルールやマナーの大切さを考えさせている。</p>	<p>○ 教材文の下段にキャラクターとともに記載している。 ・たばこのポイ捨てがなくならないのは、どうしてかな。 ・あなたは、過料をとることについて、どう思いますか。 ・ルールをマナーに高めるためには、どうしたらいいのかな。</p>

【道徳】

<p>学 研</p>	<p>○ 「深めよう」のコーナーを教材の終わりに設け、問題解決的な学習の道筋を示している。</p>	<p>○ 「チョモランマ清掃登山隊」 ○ 「D 自然愛護」 ○ 「深めよう」のコーナーの中に、「清掃登山を続ける野口さんを支えているのは、どんな思いだろう。」と示している。 ○ 登山家野口さんの体験と活動をとおして、自然と共存するために必要なことについて考えさせている。</p>	<p>○ 「深めよう」のコーナーの中に、「自然と共存するために」というテーマとともに、「つかもう→探そう→ふみ出そう」の順に記載している。 ・チョモランマに捨てられたごみの写真を見て、どう感じましたか。 ・自然との共存のために、どんなことを大切にしたいと思いますか。 ・様々な命が生きる、かけがえのない地球。「自然とともに生きている」と感じたことを、みんなで話し合みましょう。 ・グループやクラスで、考えたことを話し合ってみましょう。</p>
<p>廣 あ か つ き</p>	<p>○ 問題解決的な学習ができるよう、教材の終わりに、「考えよう話し合おう」のコーナーを設け、「学習の道すじ」の中で、学習のめあて等を示している。</p>	<p>○ 「自由という名の席」 ○ 「C 規則の尊重」 ○ 「考えよう話し合おう」のコーナーの中に、「新幹線の中での出来事を通して、きまりを守って自他の権利を尊重し、義務を果たすことの大切さについて考える。」と示している。 ○ 満員の新幹線で、席取りをしている人と、座れない人との言い合いをもとに、自他の権利について考えさせている。</p>	<p>○ 「学習の道すじ」にめあてとともに記載している。 ・車両のおくで言い合う男女それぞれの言い分を、あなたはどのように思いますか。 ・吉村さんは「自由席」と書かれたプレートを見上げて、どんなことを考えていたのでしょうか。 ・だれもが気持ちよく過ごせるように、公共の場では、どんなことに注意しなければならないのでしょうか。</p>

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④体験的な学習を取り入れた工夫
方法	体験的な学習の扱い、教材名等・内容項目・体験的な活動の概要、体験的な活動を促す具体例

	体験的な学習の扱い	第3学年	
		教材名等・内容項目・体験的な活動の概要	体験的な活動を促す具体例
東 書	○ 「出会う・ふれ合う」のマークを使い、目次及び該当ページに示している。	○ 「さいこうにうれしい『おはよう!』」 ○ 「B 礼儀」 ○ 気持ちのよいあいさつを実際にやってみて考える活動	○ 「さいこうにうれしい『おはよう!』」をするとしたらどうするか考え、シートに書く。 ○ シートをもとに、グループで「さいこうにうれしい『おはよう!』」を考え、実際にやってみる。 ○ 活動を通して気付いたことや感じたことを発表し合う。
学 図	○ 「やってみよう」のマークを使い、別冊「まなび」の中に示している。	○ 「言葉のまほう」 ○ 「B 礼儀」 ○ 言い争いになった時と自分の悪さをみとめて声をかけ合った時を演じて、気持ちのちがいを考える活動	○ 別冊「まなび」の中で、「やってみよう」のマークとともに発問を記載し、役割演技を促している。 ・男の子と「ぼく」の役になって、二人の男の子とぶつかった時の「ぼく」の気持ちのちがいを考えましょう。
教 出	○ 「スキル」のマークを使い、目次及び該当ページに示したり、教材の中に、「やってみよう」のマークを示したりしている。	○ 「どうしていけないのかな」 ○ 「B 礼儀」 ○ スーパーマーケットの店員のおじさんや客のおばあさんに、どのように話せばよいかを演じて考える活動	○ 教材文の途中の「やってみよう①②③」のコーナーに、場面の状況を示した挿絵とともに発問を記載し、役割演技を促している。 ・まなみさんと店員のおじさんになってえんじてみましょう。 ・まなみさんとお客のおばあさんになってえんじてみましょう。 ・まなみさんはどう言えばよかったのでしょうか。もう一度えんじてみましょう。
光 村	○ 「えんじて考えよう」のコーナーの中に、「友だちがえんじるのを見ながら、考えよう。」と学習活動を示している。	○ 「持ってあげる? 食べてあげる?」 ○ 「B 親切, 思いやり」 ○ みきちゃんやたけし君に頼まれた時、どのように行動すればよいかを演じて考える活動	○ 教材文の中に、二つの場面を示し、発問とともに役割演技を促している。 ・みきに「重いから、持って。」と言われたとき、「わたし」は、何と答えたらよいと思いますか。「わたし」と「みき」を、えんじてみましょう。 ・「わたし」の「やさしさ」について、どう思いますか。 ・「わたし」は、たけしに何と答えたらよいと思いますか。「わたし」と「たけし」を、えんじてみましょう。

【道徳】

<p>日 文</p>	<p>○ 「劇をしたり、体を動かしたりして考える」マークを使い、目次及び該当ページに示している。</p>	<p>○ 「足りない気持ちは何だろう」 ○ 「B 礼儀」 ○ 「友だちの家に行って」「教室で」「図書館で」「通学路で」「雨の日に…」「校外学習に行って」の各場面での気持ちを演じて考える活動</p>	<p>○ 「学習の手引き」に、めあてを示し、発問とともに役割演技を促している。 ・「教室で」の場面をえんじてみましょう。まわりの人は、どんなことを感じるでしょう。 ・「通学路で」の場面をえんじてみましょう。ボランティアの人は、どんなことを感じるでしょう。 ・教科書のほかの場面を見て、グループで話し合いながら、「足りない気持ち」を考えてみましょう。 ・どの場面にも言える「足りない気持ち」は、何でしょう。では、どんな気持ちがあるといいでしょう。</p>
<p>光 文</p>	<p>○ 学習したことが生活の場での体験につながるよう、体験的な学習を促す教材を掲載している。</p>	<p>○ 「おはしのつかい方」 ○ 「B 礼儀」 ○ 礼儀について学習した後、和食のマナーであるはしの正しい使い方をやってみて考える活動</p>	<p>○ 「おはしのつかい方」と示し、正しい箸の持ち方や取り方をイラストとともに示している。 ○ 当たり前のように使っている箸の使い方を見直すよう促している。 ・毎日のしょくじで当たり前のようにつかっている「おはし」。正しいつかい方ができているか、見直してみましょう。</p>
<p>学 研</p>	<p>○ 「やってみよう」のマークを使い、目次及び該当ページに示している。</p>	<p>○ 「貝がら」 ○ 「B 友情, 信頼」 ○ 教材の主人公「ぼく」が中山君にどのように話すかを演じて考える活動</p>	<p>○ 教材の終わりに、「やってみよう」のマークや「役わりえんぎ」のイラストとともにめあてと発問を記載している。 ・病気がなおった「ぼく」が学校で中山君に会ったときの場面を、想ぞうしてえんじましょう。 ・自分なら中山君に何を話すか、考えてみましょう。 ・えんぎする人は自由にえんじてみましょう。 ・見る人は自分ならどう言うか、考えながら見ましょう。</p>
<p>廣 あ か つ き</p>	<p>○ 「考えよう 話し合おう」のコーナーに、学習を広げる内容として、「活どうしよう」のマークを示している。</p>	<p>○ 「あめ玉」 ○ 「C 規則の尊重」 ○ 女の子たちの行動とそれを見た「わたし」の思いを演じて考える活動</p>	<p>○ 「考えよう 話し合おう」のコーナーの中に、「学習を広げる」内容として、マークとともに発問を記載し、役割演技を促している。 ・女の子（お姉さん）と妹のやり取りを、役わりを交代しながらえんじてみましょう。えんじること、それぞれの気持ちを感じ取りましょう。</p>

【道徳】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑤分量や教材の数
方法	判型, ページ数, 四つの視点ごとの教材数

	学年	判型 (別冊判)	ページ数 (別冊ページ数)	四つの視点ごとの教材数 (※複数内容項目教材)			
				A	B	C	D
東 書	第1学年	A B	128	10	9	9	6
	第2学年		146	10	8	10	7
	第3学年		168	9	8	11	7
	第4学年		172	9	8	11	7
	第5学年		184	8	7	12	8
	第6学年		200	8	7	12	8
学 図	第1学年	A B (A B)	118 (50)	10	8	10	6
	第2学年		114 (50)	10	8	11	6
	第3学年		134 (50)	10	8	11	6
	第4学年		138 (50)	10	8	11	6
	第5学年		150 (54)	9	7	13	6
	第6学年		150 (54)	9	7	13	6
教 出	第1学年	A B	134	9	7	11	7
	第2学年		142	9	8	10	8
	第3学年		150	10	9	12	4
	第4学年		162	9	9	12	5
	第5学年		166	8	6	13	8
	第6学年		170	12	6	11	6
光 村	第1学年	B 5 変型	145	10	8	11	5
	第2学年		169	10	8	12	5
	第3学年		185	9	9	12	5
	第4学年		193	9	9	12	5
	第5学年		205	9	9	11	6
	第6学年		221	8	9	11	7

【道徳】

日 文	第1学年	A B (A B)	154 (42)	11	8	13	5
	第2学年		170 (42)	11	8	13	6
	第3学年		182 (42)	11	9	12	6
	第4学年		190 (42)	9	10	13	6
	第5学年		190 (42)	8	9	14	7
	第6学年		190 (42)	9	8	13	8
光 文	第1学年	A 4 変型	158	12	9	12	7
	第2学年		166	11	10	13	6
	第3学年		182	7	12	14	7
	第4学年		186	8	11	14	7
	第5学年		190	10	9	13	8
	第6学年		194	10	8	13	9
学 研	第1学年	A 4	138	11	8	9	6
	第2学年		142	12	8	9	6
	第3学年		154	9	9	11	6
	第4学年		158	9	9	11	6
	第5学年		166	9	9	9	8
	第6学年		170	9	9	9	8
廣 あ か つ き	第1学年	A B (A B)	118 (44)	11	8	10	5
	第2学年		118 (52)	11	8	11	5
	第3学年		126 (52)	10	9	11	5
	第4学年		138 (52)	10	9	11	5
	第5学年		162 (56)	11	8	10	6
	第6学年		170 (56)	11	8	10	6

【備考】全ての発行者に掲載されている教材 ※発行者によって教材名が異なる場合、複数を提示している

教材名	学年	教材名	学年
かぼちゃのつる	第1学年	はしの上のおおかみ	第1学年
金のおの きんのおの ぎんのおの	第1, 2学年	七つの星 ひしゃくぼし 七つぼし	第1, 2学年
ブラッドレーのせい求書 お母さんのせい求書	第3, 4学年	花さき山	第3, 4学年
雨のバス停留所で	第4学年	手品師	第5, 6学年

【道徳】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥ 現代的な課題等を踏まえた内容の示し方
方法	いじめの問題の扱いと教材等の例

	いじめの問題の扱い	第5学年
		教材等の例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめ問題を題材として直接的に扱う教材と、間接的に扱う教材の二つを、一つのユニットとして組み合わせた「いじめのない世界へ」を設けている。 ○ 「いじめのない世界へ」は、マークを使い、目次及び該当ページに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ とびらページ「いじめのない世界へ やなせたかしさんの言葉」 ○ 「転校生がやってきた」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」 ・いじめに対する勇馬の考えをとおして、いじめをなくすために必要なことについて考えさせる教材 ○ 「ノンステップバスのできごと」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 親切, 思いやり」 ・車椅子のお兄さんとおじさんの会話を聞きながら和也が自分を振り返り考えている姿をとおして、親切にすることの大切さについて考えさせる教材
学 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題について、日常生活で起こりうる問題から考えられる教材を選定している。 ○ 「公正, 公平, 社会正義」の内容項目をいじめの問題に向き合う教材の中心として、複数選定している。 ○ 「学級づくり」のページを設けるとともに、「ともにいきる」マークを使い、目次の教材及び該当ページに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「言葉のおくりもの」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 友情, 信頼」 ・友達と信頼し合い、友情を深めることのよさについて考えることをとおして、男女に関係なく、友達と仲良く過ごすために大切なことについて考えさせる教材 ○ 「しらんぷり」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」 ・いじめを見てもしらんぷりするしかなかった多くの気持ちについて考えることをとおして、公正, 公平な態度のよさやこれからの自分にできることについて考えさせる教材 ○ 「たったひとつのたからもの」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「D 生命の尊さ」 ・全ての命の有限性を知り、そのことを考えることを通して、命の尊さについて考えさせる教材

【道徳】

<p>教 出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめ問題を扱う教材には、重点的に扱うマークを使い、目次及び該当ページに示している。 ○ いじめ問題を題材として直接的に扱う教材と間接的に扱う教材を選定している。 ○ 第2, 4, 5学年において、問題意識をもたせるための、拡大導入のページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「知らない間のできごと」 ・内容項目「B 友情, 信頼」 ・不用意なメールの使い方により気付かないうちに友達を傷つけてしまったできごとについて考えることをとおして, 友達と関わる時に大切にしたいことについて考えさせる教材 ○ 「差別のない社会へ」 ○ 「だれかをきずつける機械ではない」 ・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」 ・携帯電話等の使い方原因となるネットいじめについて考えることをとおして, いじめを防ぐために大切にしたいことについて考えさせる教材
<p>光 村</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめ問題を扱う教材には、「いじめを許さない心」マークを使い、該当ページに示している。 ○ 様々な内容項目からいじめ問題に結びつく教材を、よびかけとコラムとともに一つのユニットとして設けている。 ○ ユニット「いじめを許さない心」を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「すれちがい」 ・内容項目「B 相互理解, 寛容」 ・すれちがいが起きてしまった出来事を、それぞれの立場で考えることをとおして, 友達とよりよい関係を築くにはどうすればよいかについて考えさせる教材 ○ 「どうすればいいのだろう」 ・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」 ・二つの出来事について, どうすればよいかを話し合うことをとおして, 公正, 公平に行動するためには, どんな心が必要なのかについて考えさせる教材 ○ コラム「おたがいを大切にしよう」
<p>日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「人との関わり」をテーマに複数の教材や関連するコラムを一つの「いじめ防止」のユニットとして、いじめを直接的に扱う教材と間接的に扱う教材に、コラム「心のベンチ」を組み合わせ、学期に1回ずつ設けている。 ○ 「いじめ防止」に関わる教材の一部では、問題解決的な学習や、役割演技を用いた体験的な学習等を取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「真由, 班長になる」 ・内容項目「C よりよい学校生活, 集団生活の充実」 ・班長の役目について考え, 行動する真由の姿をとおして, 集団の役に立つようにするための心がまえについて考えさせる教材 ○ 「名前のない手紙」 ・内容項目「C 公正, 公平, 社会主義」 ・吉野さんの行動や発言をとおして, 集団や社会の中で正義を実現することの大切さについて考えさせる教材 ○ 心のベンチ「『いじめ』の傍観者」

【道徳】

<p>光 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめ問題を扱う教材には、「いじめを生まない心」マークを使い、目次に示している。 ○ いじめの防止について、いじめを直接的に扱う教材と間接的に扱う教材を選定している。 ○ コラム「みんな仲よし楽しい学校」を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ とびらページ「広い心で、おたがいをみとめ合おう」 ○ 「まかせてみようよ」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 相互理解, 寛容」 ・ぼくが石井さんに任せた理由について考えることをとおして、いろいろな考えをもつ仲間と認め合うために必要なことについて考えさせる教材 ○ 「みんなの劇」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 相互理解, 寛容」 ・ドッジボール大会に向けた練習を通して変わっていくクラスの様子から、男女の隔てなく相手の考えを尊重し、よさを認め合う友達関係のよさについて考えさせる教材
<p>学 研</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめ防止をテーマとして直接的に扱う教材と、間接的に扱う教材を選定している。 ○ 「公正, 公平, 社会正義」の内容項目を中心として、発達段階に応じて「友情, 信頼」, 「親切, 思いやり」等の内容項目においても教材を選定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「いじめをなくすために」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」 ・二つのメッセージをとおして、いじめについて正面から向き合うこと、生命を尊ぶということについて考えさせる教材 ○ 「言葉のおくりもの」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 友情, 信頼」 ・友達関係で悩む児童の姿をとおして、友情を高め合い、異性についても理解しながら人間関係を築くことの重要性について考えさせる教材 ○ 「日本の『まんがの神様』」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「A 個性の伸長」 ・手塚治虫の幼少期の話をとおして、自分の特徴を知り、積極的に長所を伸ばそうとすることの大切さについて考えさせる教材
<p>廣 あ か つ き</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 低・中学年では「仲間はずれ」「友達同士のトラブル」等、いじめを間接的に扱った教材を選定し、高学年では、いじめを直接的に扱った教材も合わせて選定している。 ○ 「善悪の判断, 自律, 自由と責任」の内容項目を中心として、発達段階に応じて「友情, 信頼」, 「公正, 公平, 社会正義」等の内容項目においても教材を選定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「金曜日の班活動」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「A 善悪の判断, 自律, 自由と責任」 ・班活動で起こった問題をとおして、自分で考え、判断し、責任ある行動をすることの大切さについて考えさせる教材 ○ 「魚の世界」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」 ・さかなクンの体験と魚の世界の話をとおして、いじめをなくし、だれに対しても公正, 公平に、正義をつらぬくことの大切さについて考えさせる教材 ○ 「ぼくの名前よんで」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 家族愛, 家庭生活の充実」 ・両親の願いを知った太郎の思いをとおして、家族の大切さ、そして、自分にできることについて考えさせる教材

【道徳】

観点	(工) 内容の表現・表記
視点	⑦巻頭、巻末等の取扱いの工夫
方法	巻頭、巻末等の示し方

	巻頭等の示し方	巻末等の示し方
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年、「これから一年間で学ぶこと」として、四つの視点ごとに教材名を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「道徳の学習を進めるために」を見開き2ページで示している。 ○ 第2学年以上は、「道徳の時間が始まるよ!」を折り込み4ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、「学習の記録」を1ページ、「学習のふり返し」を2ページ、「これからもかがやく自分に!」を1ページで設けている。 ○ 各学年、各教科等における道徳教育と関連する付録を6ページで示している。 ○ 「学習のまとめ」のページを、学期ごとに色分けをし、第1学年は2ページ、第2学年以上は3ページで設けている。
学 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には、四つの視点で色分けしたマークとともに、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年、「道徳の学習を始めよう」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「学級づくり」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年の別冊「まなび」の目次には、四つの視点で色分けしたマークとともに、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年の別冊「まなび」には、「まなびの道しるべ」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年の別冊「まなび」には、「教科書『まなび』の使い方」を2ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、「ふるさとコラム」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、内容項目別教材一覧を四つの視点別で示し、関連する現代的な課題等を記載している。 ○ 別冊「まなび」には、「まなびのヒント」として、話し合いの仕方等を、第1・2学年は4ページ、第3学年以上は2ページで示している。 ○ 各学年の別冊「まなび」には、保護者向けに四つの視点の内容とともに、めざすこと、教材を示している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には、四つの視点で色分けしたマークとともに、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年、「道徳の学習が始まるよ」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「道徳ではこんな学習をするよ」を見開き2ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、「学びの記録」を3ページ、「1年間の道徳の学習を振り返ろう」を1ページで設けている。 ○ 第1・2学年には、「みにつけよう れいぎ・マナー」を4ページで示している。 ○ 各学年、内容項目別教材一覧を四つの視点別で示し、現代的な課題との関係、他教科・領域との関係、第3学年以上には「まなびリンク」のマーク等を記載している。
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次の前には、命をテーマにした詩を見開き2ページで掲載している。 ○ 各学年の目次には、学習のまとまりを表すマークとともに、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 第2学年以上は、「道徳の時間」を示すとともに、第2学年は見開き2ページ、第3学年以上は4ページで示している。 ○ 第2学年以上は、「この本で学ぶみなさんへ」を1ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第5・6学年には、「あなたへのメッセージ」を1ページで示している。 ○ 人とよりよい関係を築くための付録を、第1学年～4学年は1ページ、第5・6学年は2ページで示している。 ○ 第3学年以上には、日本の伝統文化について2ページで示している。 ○ 各学年、内容項目別教材一覧を四つの視点別で示し、現代的な課題等との関わり、他教科・領域との関わりを記載している。

【道徳】

<p>日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には、四つの視点で色分けをし、掲載している全ての教材について、第1学年は教材の内容に関するイラストで、第2学年以上は教材名で示している。 ○ 各学年、「道徳のとびら」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「道徳の学び方」を見開き2ページで示している。 ○ 別冊「道徳ノート」の目次には、各学年、四つの視点で色分けをし、掲載している全ての教材について、第1学年はかるた風のイラストを1ページで、第2学年以上は教材名を見開き2ページで示している。 ○ 別冊「道徳ノート」には、道徳ノートの使い方等を、第1学年は1ページで、第2学年以上は目次の下に見開き2ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、「あすをみつめて」を1ページで示している。 ○ 各学年、内容項目別教材一覧表を四つの視点別で示し、他教科等との関連をマークとともに記載している。 ○ 各学年の別冊「道徳ノート」には、「道徳の学習で学んだことを書きましよう。」を2ページで設けている。 ○ 第1学年の別冊「道徳ノート」の目次には、四つの視点で色分けし、全ての教材名を示している。
<p>光 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には、四つの視点で色分けをし、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年、「さあ、道徳の学習が始まります」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「道徳の時間は、こんな時間です」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「いろいろな場面で・・・」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「この本の使い方」を見開き2ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容項目別教材一覧を四つの視点別で示し、現代的課題との関係や関連性のある内容項目等を記載している。 ○ 各学年、折り込みで、「学びの足あと」を設けている。
<p>学 研</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次の前には、詩を見開き2ページで掲載している。 ○ 各学年の目次には、四つの視点で色分けをし、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年、「道徳の学習が始まるよ」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、四つの視点ごとの教材一覧を見開き2ページで設定している。 ○ 「自分のことを書いてみよう」を見開き2ページで設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、内容項目別教材一覧を四つの視点別で示している。 ○ 各学年、「心の宝物」を1ページで設けている。
<p>廣 あ か つ き</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年、詩を1ページで掲載している。 ○ 第1学年は、「どうとくのじかんは」を1ページ、第2学年以上は、「道徳の時間はこんな時間」を3ページで示している。 ○ 別冊「道徳ノート」の各学年の目次には、四つの視点で色分けをし、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 「今の自分を見つめて」を1ページで設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、内容項目とともに、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 第3学年以上には、教材と関連して学びを深める特集のページを6ページで示している。 ○ 各学年、四つの視点ごとに色分けされた教材一覧を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、別冊「道徳ノート」には、折り込みで「心のしおり」を設けている。

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑧教材の内容を理解させる工夫
方法	マーク・キャラクター等の示し方と活用の具体例

	マーク・キャラクター等の示し方	活用の具体例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 四つの視点をマークで示している。 ○ 「出会う・ふれ合う」のマークを設定している。 ○ 第3学年以上は、「つながる・広がる」のマークを設定している。 ○ 第3学年以上は、「問題を見つけて考える」のマークを設定している。 ○ 「いじめのない世界へ」のマークを設定している。 ○ 「情報モラル」のマークを設定している。 ○ キャラクター「こころん」を設定している。 ○ 「Dマーク」を設定し、QRコードを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名の上に、該当する四つの視点を示している。 ○ 「出会う・ふれ合う」は、コミュニケーション活動による相互理解を深める学習ができることを示している。 ○ 各教科等と関連づけた学習を取り入れていることを示している。 ○ 問題解決的な学習ができることを示している。 ○ いじめをしない、許さない心を育てることができる学習を示している。 ○ 情報モラルを扱った教材であることを示している。 ○ キャラクター「こころん」を使い、第1・2学年は教材のはじめに、第3学年以上は教材の終わりに発問を示している。 ○ インターネットを活用して内容に関連した動画を見ることができる教材を「Dマーク」で示すとともに、教科書裏の表紙にQRコードを示している。
学 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 四つの視点をマークと旗の色で示している。 ○ 「!きづき」「?まなび」のマークを設定している。 ○ 「ともにいきる」のマークを設定している。 ○ 「情報モラル」のマークを設定している。 ○ 「コラム」を旗の色で示している。 ○ 別冊「まなび」には、「こころのパレット」のマークを設定している。 ○ 別冊「まなび」には、「かんがえよう」「みつめよう」「やってみよう」のマークを設定している。 ○ 別冊「まなび」には、「つなげていこう」のマークを設定している。 ○ 別冊「まなび」には、鉛筆マークを設定している。 ○ QRコードを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名の上に、該当する四つの視点を示している。 ○ 「!きづき」は本冊、「?まなび」は別冊を示している。 ○ いじめにかかわる教材であることを示している。 ○ 情報モラルを扱った教材であることを示している。 ○ 関連する補助資料として読みものコラムを示している。 ○ 主に授業の導入等で活用する教材を示している。 ○ 「かんがえよう」は中心発問、「みつめよう」は後段での発問、「やってみよう」は体験的な学習活動を示している。 ○ 授業を振り返って自己評価をすることを示している。 ○ 自分や友達の考えを書く欄であることを示している。 ○ 各教材と巻末に、補助資料にリンクするQRコードを示している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 四つの視点をマークで示している。 ○ 現代的な課題等に対応する教材をマークで示している。 ○ 中心的な発問をマークで示している。 ○ 「スキル」のマークを設定している。 ○ 「考えよう」「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」のマークを設定している。 ○ キャラクター「とりどり先生」を設定している。 ○ 「まなびリンク」のマークを設定し、QRコードを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名の上に、該当する四つの視点を示している。 ○ 現代的な課題に対応するための教材として「いじめをなくす」は黄色「情報モラル」は青色「生命尊重」は赤色の色別のマークで分け、目次及び該当ページに示している。 ○ ねらいとする道徳的価値に関わる中心的な発問をマークで示している。 ○ 体験的な学習ができることを示している。 ○ 学びの手引きとして、問題解決的な学習ができるように示している。 ○ キャラクター「とりどり先生」が、主題へ誘う発問を示している。 ○ 第3学年以上は、学習内容一覧に、児童が学習したり指導資料として活用したりできる教材をウェブサイトで見ることができる「まなびリンク」のマークを示すとともに、巻末にQRコードを示している。

【道徳】

<p>光 村</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年間の三つのまとまりに分けた「学習のまとまり」をマークで示している。 ○ 四つの視点をマークで示している。 ○ 中心的な発問をマークで示している。 ○ 「コラム」をマークで示している。 ○ 「考えよう・話し合おう」のマークを設定している。 ○ 第2学年以上は、「つなげよう」のマークを設定している。 ○ キャラクター「こころん」「きらりん」を設定している。 ○ QRコードを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校生活の実態に即して、1年間の三つのまとまりに分け、4～8月、9～12月、1～3月のまとまりを色別のマークで示している。 ○ 主題名の上に、該当する四つの視点を示している。 ○ 特に考えさせたい中心的な発問をマークで示している。 ○ 現代的な課題について考えることができる内容について、「コラム」として示している。 ○ 学びのめあてを示している。 ○ 他教科等との関連や日常生活、次の道徳の授業へとつなげられるよう示している。 ○ 主題名の下に、キャラクター「こころん」が児童と教材を結び付ける問いかけを示している。また、教材の最後に、キャラクター「きらりん」がめあてに沿った発問を示している。 ○ 巻頭や教材の下に、教材に関する朗読や動画、写真等のデジタルコンテンツにリンクするQRコードを示している。
<p>日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 四つの視点をマークで示している。 ○ 教材の学び方をマークで示している。 ○ キャラクター「ココロウ」を設定している。 ○ キャラクター「はるひと」「あかね」「なおや」「りさ」を設定している。 ○ 「考えてみよう」「見つめよう生かそう」のマークを設定している。 ○ 「ふろく」をマークで示している。 ○ 「心のベンチ」のマークを設定している。 ○ 「教科書デジタルコンテンツ」のマークを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名の上に、該当する四つの視点を示している。 ○ 教材名の下に、学び方マークで、豊かな学びの参考例として、体験的な学習、問題解決的な学習を取り入れた指導例と、多様な実践活動を生かす学習に対応した指導例を示している。 ○ 教材の中で、学習をガイドするキャラクター「ココロウ」が、教材に入り込むきっかけとなる発問を示している。 ○ 教材の終わりに、キャラクター「はるひと」「あかね」「なおや」「りさ」が、学習をガイドしている。 ○ 教材の終わりに、ねらいに迫る発問等を示している。 ○ 補充教材を「ふろく」として示している。 ○ 道徳的価値について考えを広げ深めるためのコラムを、「心のベンチ」として示している。 ○ 関連する動画や画像等の資料にリンクする「教科書デジタルコンテンツ」のマークを示している。
<p>光 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 四つの視点と、各学年で特に考えたいことをマークで示している。 ○ キャラクター「みらいさん」「ゆたかさん」「トリー」「わんだ先生」を設定している。 ○ 「命がかがやかせる」「いじめを生まない心」「情報社会を生きる」のマークを設定している。 ○ 「まとめる」「ひろげる」マークを設定している。 ○ 「みんなでやってみよう！」のマークを設定している。 ○ 「情報モラル」「コラム」のマークを設定している。 ○ 「みんな仲良し楽しい学校」のマークを設定している。 ○ 「ことばのたからもの」のマークを設定している。 ○ 第3学年以上は、「オリンピック・パラリンピック」のマークを設定している。 ○ 「学びの足あと」のマークを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主題名の上に該当する四つの視点や各学年で特に考えたいことを示している。 ○ 指導の思考をサポートするキャラクターが、考えるためのポイントや考えを広げるための見方等を示している。 ○ 現代的な課題について考えることができる内容について、マークで示している。 ○ 教材の終わりに、「まとめる」「ひろげる」マークを使い、学習を振り返り、授業後につなげる発問を示している。 ○ 「みんなでやってみよう！」のマークを使い、よりよい人間関係の構築に向けたコラムを示している。 ○ 情報モラルを扱った教材、関連する教材であることを示している。 ○ 児童自らがいじめの防止等に主体的にかかわる態度を育むためのコラムを、キャラクターやイラストを使って示している。 ○ 語彙の獲得にもつなげるための名言や格言を紹介する「ことばのたからもの」をマークで示している。 ○ オリンピック・パラリンピックを題材とした教材であることを示している。 ○ 授業の記録を書く「学びの足あと」をマークで示している。

【道徳】

<p style="text-align: center;">学 研</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 四つの視点をマークで示している。 ○ 最重点テーマと重点テーマをマークで示している。 ○ キャラクター「明日香」「未来」を設定している。 ○ 「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」「広げよう」のマークを設定している。 ○ 「考えよう」のマークを設定している。 ○ 鉛筆のマークを設定している。 ○ 家のマークを設定している。 ○ 情報モラルのマークを設定している。 ○ インターネットにつながるマークを設定し、QRコードを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名の上に、該当する四つの視点を示している。 ○ 最重点テーマの「いのちの教育」を扱ったユニット教材を「いのち」のマークで示し、2学年ごとの重点テーマを扱ったユニット教材をキーワードを使ったマークで示している。 ○ 表紙とともに、各学年の一つの教材の登場人物として示している。 ○ 「学び方のページ」として、学習を広げ、深めるページに示している。 ○ 各教材の最後に、「考えよう」のマークを使い、発問を示している。 ○ 自分の思いや考えを書き込む欄を示している。 ○ 家庭や地域社会と連携する学習活動を示している。 ○ 情報モラルを扱った教材であることを示している。 ○ インターネットで見たり音声を聞いたりできる教材をマークで示すと同時に、巻頭にQRコードを示している。
<p style="text-align: center;">廣 あ か つ き</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 四つの視点をマークで示している。 ○ 第3学年以上には、教材と関連し学びを深める特集をマークで示している。 ○ 第3学年以上には、「学習の道すじ」を表すマークを示している。 ○ 第3学年以上には、「学習を広げる」マークを示している。 ○ 別冊「道徳ノート」に鉛筆のマークを設定している。 ○ 第3学年以上には、「インターネット」のマークを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名の下に、該当する四つの視点を示している。 ○ 第3学年以上は、教材と関連して、学びを深めるための特集のページであることを葉のマークで示している。 ○ 第3学年以上は、学びの手掛かりとなる「考えよう話し合おう」のコーナーの中に、「学習の道すじ」を表すマークとともに、学習のめあてを示している。 ○ 第3学年以上は、「考えよう話し合おう」のコーナーの中に、「学習を広げる」マークとともに、学習内容を広げたり深めたりできるよう示している。 ○ 別冊「道徳ノート」の中に、教材を通して感じたことや考えたことをまとめるための書き込み欄を示している。 ○ インターネットを使用して、関わりのある情報にリンクできることを示している。

【道徳】

観点	(才) 言語活動の充実
視点	⑨考えを伝え合う活動の工夫
方法	話し合いを促す示し方と具体例

		第5学年	
		話し合いを促す示し方	具体例
東 書		<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「道徳の学習を進めるために」の中に、「考える 話し合う」活動を示し、「話し合いの約束」として、話し合いのポイントを示している。 ○ 巻頭の「ちょっとみんなで話し合ってみよう」の中にショートストーリーを例とし、自分の考えをもつ活動を設定し、話し合いの状況を示している。 ○ 教材の終わりに、議論させることを促し、多様な考えを引き出すための活動を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合いの約束」 <ul style="list-style-type: none"> ・聞くときは・・・ ・話すときは・・・ ○ 「あなたの考えを書いてみよう。」 <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくとはちがう考えだけど参考になるな。 ・人によっていろいろな考えがあるんだな。 ○ 教材名「大きなじこをよぶ『ヒヤリ・ハット』」 <ul style="list-style-type: none"> ・グループで、○でかこんだところと、おこりそうなじこの予想を発表し合いましょう。そして、そのじこをふせぐために、どうしたらよいか話し合いましょう。
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「道徳の学習を始めよう」の中に、話し合いの状況を示している。 ○ 別冊「まなび」の巻末に「まなびのヒント」のページを設け、上手な話し方・聞き方、上手な話し合いのポイントを示している。 ○ 別冊「なまび」の中に、「かんがえよう」「やってみよう」のマークを使い、教材における話し合いの場面を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ぼくだったらこうするよ。」「なるほどね。」「わたしは、こうしたほうがいいと思うな。」 ○ 「上手な話し方・きき方」 <ul style="list-style-type: none"> ・相手がきき取れる速さで、ゆっくりと話しましょう。 ・友達が話しているときには、その人の話をただきくだけではなく、何を伝えようとしているのか。どんなことを強調しているのか。など、話し手の意図していることを感じ取ったり、共感したり、ぎもんに思ったり、考えたりしながらきくことを心がけましょう。 ○ 教材名「手品師」 <ul style="list-style-type: none"> ・男の子の前で手品を演じているとき、手品師はどのようなことを思っていたでしょう。
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「五年生の道徳の学習が始まるよ」の中に、話し合いの意義や活動について示している。 ○ 巻頭の「道徳ではこんな学習をするよ」の「考える」の中に、「話し合って考えよう」として、話し合いのポイントを示している。 ○ 教材の終わりの「学習の手引き」の中に、話し合いのための具体的な状況を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分の思いや考えを発表し、友達の考えを聞いたり、質問したりしながら、話し合いをします。」 ○ 「授業の中で考えたことを話し合おう。自分の考えを伝えるときは、大きな声で話そう。友達の考えは最後までしっかり聞いて、自分の考えと比べよう。」 ○ 教材名「ロレンゾの友達」 <ul style="list-style-type: none"> ・自分だったら、友達にどうしてあげるだろう。 ・どうすることが友達のためになるのかな。

【道徳】

<p>光 村</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「道徳の時間は」の中に、「考えよう」というキーワードを用いた学習活動の一環として、「話し合って考えよう」で、話し合いの具体的な状況を示している。 ○ 教材の終わりの「考えよう・話し合おう」の中に、教材における話し合う活動を示している。 ○ 「自分の考えを深めるとき」の中に、自分の考えを表すときや、友達の考えを受けとめる時の言い方を具体的に示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合って考えよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・わたしとは、ここが同じで、ここがちがう。 ・もっとくわしく考えを聞かせて。 ○ 教材名「いこいの広場」 <ul style="list-style-type: none"> ・責任ある行動とは、どんなものだろう。 ・二人の中学生がキャッチボールをしているのを見て、「ぼく」がなんとなく気になっていたのは、なぜでしょう。 ○ 「自分の考えを深めるとき」 <ul style="list-style-type: none"> ・わたしは、○○だと思います。理由は、□□だからです。 ・田中さんの考えを聞いて、自分の考えが□□に変わりました。
<p>日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「道徳の学び方」の「考えを深める」の中に、話し合いの具体的な状況を示している。 ○ 「学習の手引き」や「心のベンチ」の中に、話し合いの流れを示している。 ○ 教材の終わりの「学習の手引き」の中に、教材における話し合う活動を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合ってみよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・その考えをもう少しくわしく聞かせてよ。 ・前はこう考えていたけど、今はこんな考えになったよ。 ○ 「話し合ってみよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・個人で考える。 ・グループで意見を出し合う。 ・全体で意見の交流や話し合いを行う。 ○ 教材名「真由、班長になる」 <ul style="list-style-type: none"> ・グループで話し合ったことをもとに、「集団でのやくわり」を果たすことについて、どんな「考え方がたいせつか、学級全体で話し合ってみましょう。」
<p>光 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「道徳の時間は、こんな時間です」の中の、学習の手順に、話し合う活動を提示し、話し合いのポイントを示している。 ○ 教材の終わりに、教材における話し合う活動を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合って考える」 <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人の考えを聞いて話し合い、考えを広げたり、深めたりしましょう。 ・友だちの話をよく聞こう。質問やつけ足しもできるといいね。 ○ 教材名「帰ってきた、はやぶさ」 <ul style="list-style-type: none"> ・國中教授の生き方から学んだことをまとめ、話し合いましょう。
<p>学 研</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「道徳の学習が始まるよ」の、学習の手順「考える」の中に、話し合う活動を提示し、話し合いのポイントを示している。 ○ 教材の終わりの「学び方のページ」の中に、「活動」の欄を設け、話し合いのポイントを示している。 ○ 教材の終わりの「学び方のページ」の中に、話し合う活動を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合おう、やってみよう、書いてみよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなものの見方、感じ方、考え方にふれよう。 ○ 「活動」 <ul style="list-style-type: none"> ・グループやクラスで、考えたことを話し合ってみましょう。 ・クラス全体で、さまざまな考えを確かめてみましょう。 ○ 教材名「人生という教科」 <ul style="list-style-type: none"> ・あなたの考える「自由」はどんなものですか。話し合ってみましょう。

【道徳】

<p>廣あかつき</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「道徳の時間はこんな時間」の中に、学習全体でねらいとする活動や内容を紹介し、話合いの意義やポイントを示している。 ○ 教材の終わりの「考えよう 話し合おう」の中に、教材における話し合う活動を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分で感じ、考えたことを伝え、他の人の意見をよく聞きましょう」 ○ 「さまざまな答えがあります」 ○ 「みんなで考え、話し合いましょう」 ○ 教材名「ちゃんとやれよ、健太」 <ul style="list-style-type: none"> ・「ぼく」になったつもりで、健太をはげますメールの文章を書いてみましょう。また、友達と文章を交かんし合って、メールを受け取った相手がどのような気持ちになるか、話し合ってみましょう。
--------------	---	--

【道徳】

観点	(才) 言語活動の充実
視点	⑩考えをまとめたり，振り返ったりする活動の工夫
方法	考えをまとめたり，振り返ったりする活動の示し方，まとめや振り返りの数等と具体例

		第4学年		
		考えをまとめたり，振り返ったりする活動の示し方	まとめや振り返りの数等	具体例
東 書		○ 巻末に，1時間の授業ごとに色を一コマ塗ったり，学習を振り返って自己評価をマークで描いたりするページを設けている。また，1年間を振り返ったり，心に残った教材を振り返ってまとめたりするページを設けている。	○ 「学習の記ろく」 (35 時間分) ○ 「学習のふり返り」 (43 時間分) ○ 「これからもかがやく自分に！」 (記入欄2か所) ○ 「学習のまとめ」 (学期ごと記入欄3か所，長期休業前3回分)	○ 「学習の記ろく」 ・一時間のじゅぎょうが終わったら，じゅんばんにすきな色をぬろう。 ○ 「学習のふり返り」 ・道徳の学習をふり返ってみよう。当てはまる☺に色をぬろう。 ○ 「これからもかがやく自分に！」 ・4年生になって成長したことはなにか。8ページとくらべてみよう。 ○ 「学習のまとめ」 ・学習のまとめをしよう
	学 図	○ 別冊「まなび」に，学習を振り返って自己評価をマークで描いたり，「まなびの道しるべ」に，心に残った話等を書いたりする欄を設けている。	○ 「つなげていこう」 (35 時間分) ○ 「まなびの道しるべ」 (2回分)	○ 「つなげていこう」 ・今日の学習について気づきがあった♡ ・深く考えた♡ ・これから見つめた♡ ○ 「まなびの道しるべ」 ・心に残った話や，考えたこと，感じたことを書きましょう。
	教 出	○ 巻末に，学習した日付や教材で心に残ったこと等を記述したり，1年間の道徳の学習で振り返ったことを記入したりする振り返りのページを設けている。	○ 「学びの記録」 (41 時間分) (記入欄3か所) ○ 「一年間の道徳の学習をふり返ろう」 (記入欄3か所)	○ 「学びの記録」 ・学んだことを，ふり返りましょう。学んだ日を書きましよう。 ・道徳のお話で，心にのこったのはどれですか。そのわけも書きましよう。 ○ 「一年間の道徳の学習をふり返ろう」 ・一年間の道徳の学習で，いちばん大切だと考えたのは，どの時間でしたか。

【道徳】

<p>光 村</p>	<p>○ 「学習のまとめ」ごとに、区切りのページを設け、「学びの記録」とともに、自分の学びの変化や学んだことが生かされたことを記入する、「まとめ」の欄を設けている。</p>	<p>○ 「学びの記録」 (35 時間分)</p> <p>○ 「まとめ」 (記入欄 3 か所)</p>	<p>○ 「学びの記録」 ・ 一時間ごとに、どんなことを学んだのかや、学んだことについての感想などを記録しましょう。</p> <p>○ 「まとめ」 ・ 道徳の時間に学んだことが生かされたと思った出来事や、こんなときに学んだことを生かしていきたいと考えたこと、自分で自分が「変わったな」と思えたことなどを書きましょう。</p>
<p>日 文</p>	<p>○ 別冊「道徳ノート」に、学習を振り返って自己評価をマークで描く欄とともに、巻末に、道徳の学習で学んだこと等を記入する、振り返りのページを設けている。</p>	<p>○ 「今日の学習はどうでしたか。あてはまるところに○をつけましょう。」 (38 時間分)</p> <p>○ 「道徳の学習で学んだことを書きましょう」 (4 回分)</p>	<p>○ 「今日の学習はどうでしたか。あてはまるところに○をつけましょう。」 ・ しっかり考えた ・ 新しく気づいたことがあった ・ これからたいせつにしたいことがわかった</p> <p>○ 「道徳の学習で学んだことを書きましょう」 ・ 心に残ったお話を書きましょう。その理由も書きましょう。</p>
<p>光 文</p>	<p>○ 巻末に、学習した日付け、教材番号授業後の心の動きや学びを記録する、振り返りの欄を設けている。また、学期末や年度末に、道徳で学んだことを振り返って記入する、「まとめ」の欄を設けている。</p>	<p>○ 「学びの足あと」 (36 時間分)</p> <p>○ 「まとめ」 (3 回分)</p>	<p>○ 「学びの足あと」 ・ 授業を受けた後の気持ちを矢印で表しましょう。 ・ そのような矢印にしたわけや、分かったこと、感じたこと、やってみたいと思ったことを書きましょう。</p> <p>○ 「まとめ」 ・ どうかで学んだことを、まとめましょう。</p>
<p>学 研</p>	<p>○ 巻末に、道徳の学習を通して、心に残った言葉や話等を記入し、1 年間の学びを振り返るページを設けている。</p>	<p>○ 「心のたから物」 (記入欄 1 か所)</p>	<p>○ 「心のたから物」 ・ 道徳の学習をして、心にふえたたから物や、心に残った言葉や話を書きとめておきましょう。</p>
<p>廣 あ か つ き</p>	<p>○ 別冊「道徳ノート」に、考えたり振り返ったりしたことを書く欄や、巻末に、心に残っている授業等について記録するページを設けている。また、学習を振り返って自己評価をマークで描く折り込みを設けている。</p>	<p>○ 「学習の記録」 (36 時間分)</p> <p>○ 「心に残っているじゅ業の記録」 (4 回分)</p> <p>○ 「心のしおり」 (35 時間分)</p>	<p>○ 「学習の記録」 ・ 感じたことや考えたこと</p> <p>○ 「心に残っているじゅ業の記録」 ・ 心に残っている理由</p> <p>○ 「心のしおり」 ・ できたかな</p>